

3 データ利活用

中小企業デジタル化と地域金融機関の収益力強化の両立を目指すデータ利活用

株式会社 NTT データ (以下、NTT データ) 金融事業推進部デジタル戦略推進部は、金融機関のデータ利活用に向けて AI による業務変革をサポートしてきた。今後はその経験・ノウハウを活かして、地域金融機関の経営課題及び地域課題を解決する取り組みを推進する。

4つの領域からアプローチする「AI × データ利活用」

金融業界への AI 活用は予測に求められる正確性と対顧客説明の必要性から、4つの領域に大別できると斎藤氏は説明する (図1)。マトリクス上で、AI 導入実現の障壁が比較的低いものは、左下の領域に位置するコールセンター対応支援や Web クローリングによる法人情報の収集等。障壁が比較的高いものは、右上に位置するサイン認証や入出金データを用いた法人融資審査モデル。金融機関のデータを利活用する

ための AI 導入にあたっては、左下の領域から開始し徐々に右上の領域に拡大するようにアプローチすることが多い。

「AI 導入後に蓄積したデータをどのように活用していくかを考えることが重要です」(斎藤氏)。

融資業務をサポートする取り組みの事例

デジタル戦略推進部は、金融機関の融資、投資信託、営業、ビジネスマッチング等さまざまな業務を対象とした取り組みを進めている。その中には、既に商用化されたものも多



株式会社 NTT データ
金融事業推進部
デジタル戦略推進部
部長 斎藤 文氏

い。また幾つかは PoC 中、PoC 企画中の段階にある。内容別に見ると融資業務に関する案件が多く、新規融資先の獲得や融資判断に AI を活用したいと考える金融機関が多いことが窺える。

以下に、融資業務に関する2つの取り組み実績について紹介する。

■ 融資審査

金融機関の「融資審査」は従来財務諸表をベースに審査していたが、AI の活用によって預金口座の入出金の情報をもとに企業信用力を判断するモデルが利用される。これに



図1 4つの領域からのアプローチ

より、お客様に融資申込の手間を省きつつ、よりリアルなデータに基づく審査が可能となる。人手でその企業の日々の入出金状況の傾向や特徴を全て把握して審査することは難しいため、大量のデータを扱うことが得意なAIを活用するからこそ実現できるものである。

■融資需要予測

「融資需要予測」は融資のターゲット抽出をサポートする。活用するデータは前述の融資審査とほぼ同じであり、融資審査と組み合わせて活用することも可能だ。AIを活用することで、“人間の判断では融資ターゲットに設定しない企業”が新たな融資のターゲットとなる可能性がある。

地元中小企業の成長支援とデータ活用による地域金融機関の新たな収益モデル作り

地域の人口減少や高齢化などを背景に、地域金融機関は資金面を中心とした支援に留まらず、地域産業や

地元企業への貢献などより大きな役割が求められている。加えて、低金利や法規制緩和による競合参入等により金融機関は厳しい事業環境が続いており、新たな収益モデルの構築に迫られている。

こうした背景の下、現在 NTT データは中小企業向けバンキングプラットフォーム構築の構想を描いている（図2）。中小企業もITやDXに期待を抱く企業は多い。そこで地域金融機関が顧客である地元の中小企業にDXソリューションを提供し、地元企業のDX化を支援する。一方、地域金融機関は従前から保持している行内データに加えて、中小企業に導入していただいたDXソリューションのデータを加え、新たなビジネス機会を見出し、地域金融機関自身の収益力強化に繋げていく。当然、データの利用にあたってはその企業の許諾を得た上ではあるが、このような形が実現できれば中小企業の成長支援と地域金融機関の新しい収益モデル作りが両立できるの

ではないかと考えている。

例えば、製造業向けのDXソリューションとして代表的なものとして、工場の機械にIoTセンサーをつけて機械の稼働率を把握するソリューションがある。このソリューションを活用すれば機械が止まっている時間を詳細に把握できるため、その要因を特定して機械の稼働率をあげ、モノ作りの生産性を上げていくことが可能となる。一方、地域金融機関は機械の稼働状況を見て、仕事が繁忙であるようであれば人材紹介や新たな仕入先の紹介などビジネスマッチングの機会を捉えられる可能性がある。また繁忙が継続するようであれば機械を増設し、必要資金を融資することも考えられる。

NTT データはデータの利用に配慮しつつ、これまで培ってきたデータ利活用技術とノウハウを用いて、お客様の経営課題はもちろんのこと、社会課題解決の取り組みを推進していく。

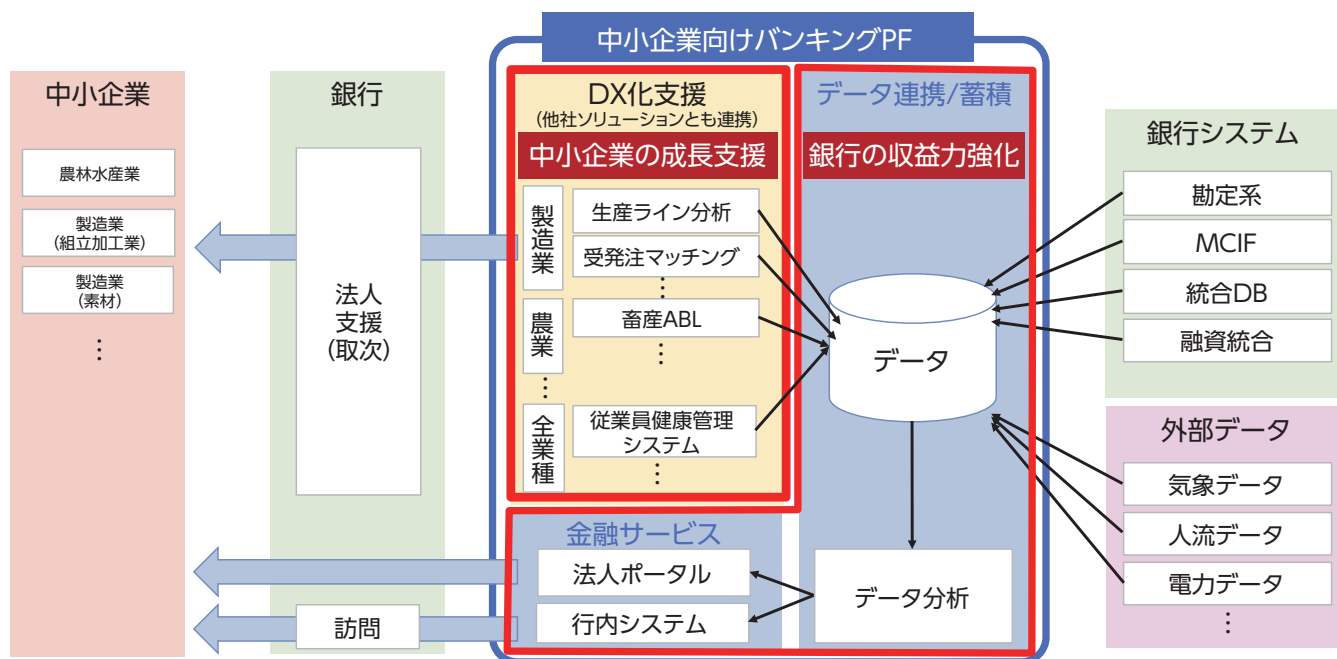


図2 中小企業向けバンキングプラットフォームのイメージ